

ふるさとを詠める
室生犀星詩集

ふるさとを詠める

玉生犀星詩集

室生朝子 編
千葉春雄 写真

編 者 紹 介

室 生 朝 子

大正12年8月27日東京に生まる。普連土女
学校卒、聖心女学院国文科中退。昭和34年、
父犀星の小説「杏っ子」の映画化をきっかけ
として、執筆生活にはいる。著書「晩年の父
犀星」「猫の歌」「私の釣りの旅」その他。文
芸家協会、日本ペンクラブ会員。

現住所・東京都大田区山王1-3-8

菊水ビル

ふるさとを詠める
室生犀星詩集

編 者 室 生 朝 子

写 真 千 葉 春 雄

発 行 者 石 地 与 一 郎

発 行 所 鑛 北 国 出 版 社

金沢市香林坊二丁目五十一

電話〇七六(金沢) 三三三

振替 金沢 一〇二二八 二九二〇

出版社コード番号 7784

印刷所 北国書籍印刷株式会社

昭和五十年八月五日印刷
昭和五十年八月十五日発行

◎ 定 価

一、六〇〇円

目次

小景異情

I

その一

.....2

その二

.....4

その三

.....6

その四

.....8

その五

.....10

その六

.....12

木の芽

.....14

三月

.....16

寺の庭

.....18

足羽川		20
ふるさと		22
犀川		24
すて石に書きたる詩		26
春の寺		28
山の温泉		30
春の入日に		32
静かなる思ひ		34
海の尼寺		36
知るや知らずや		38

II

夏の朝	40
かもめ	44
海浜独唱	46
蛇	48
砂山の雨	50
魚とその哀歓	52
永日	54
樹にのぼる蛇	56
砂丘の上	58

水すまし		60
山にゆきて		62
大乘寺山にて		64
米の小箱		66
みやこ		68
逢ひて来し夜は		70
山なみ		72
櫂		74
青き魚を釣る人		76
壁上哀歌		78
静かなる卓上		80
鳥雀のいとなみ		82

しら雲	100
月草	98
小曲	96
小曲	94
時無草	92
秋の日	90

III

片町	88
馬車	87
犀川磧	86
海	84

くらげ		102
あらし来る前		104
磧		106
松林のなかに坐す		108
静かなる空		110
秋思		112
しぐれ		114
朱き葉		116
秋の終り		118
僧院の窓辺		120
栗売		122
とんぼ釣り		124

哀しき都市	126
青草に坐す	130
消えゆく蟲	134
秋	136
秋晴のほとり	138
芒	140
泉のほとり	142
磧	146
水の上	148
白きを愛す	150
能登七尾の港	152
十一月初旬	154

あとかぎ	198
氷柱	196
往復光路	194
雪くらげ	192
犀川越えて	190
雪のなかより	188
凍えたる魚	186
冬の逢瀬	182
煙れる冬木	180
わかれ	178

I

小景異情

その一

白魚はさびしや

そのくろき瞳はなんといふ

なんといふしをらしさぞよ

そとにひる餉けをしたたむる

わがよそよしさと

かなしさと

ききともなやな雀しば啼けり



その二

ふるぎとは遠き^とにありて思ふもの
そして悲しくうたふもの

よしや

うらぶれて異土の乞食^{かたる}となるとても

